

香川高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	芸術Ⅰ（書道）	
科目基礎情報							
科目番号	1013		科目区分		一般 / 選択必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	通信ネットワーク工学科（2018年度以前入学者）		対象学年		1		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	角井博他著「書道Ⅰ」 教育出版						
担当教員	正田 幸子						
到達目標							
書の表現と鑑賞の基礎能力を育てるとともに、古典の臨書と創作を通して、芸術としての書的美を学ばせ、書を愛好する心情を養う。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 書の基本形を把握する	書の基本形を把握できる。		書の基本形をある程度把握できる。		書の基本形を把握できていない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	国語科書写では、文字を正しく整えて書くことを目標としたが、芸術科書道では、書写の能力をさらに高め、書的美を追求していくことを目指す。						
授業の進め方・方法	表現の学習では、実技を通して臨書と創作をする。 表現力を高め豊かにするには、すぐれた書を鑑賞し感性を養うことを心がけるようにする						
注意点	毎時間、清書作品を提出させ、学習到達度評価を行うとともに、授業態度等も加味した総合評価を行う						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	書的美を求めて		書的美とは何かを考えさせる A3:1		
		2週	楷書の学習の基本		書の基本形を把握する B2:1		
		3週	厳正な楷書と温雅な楷書 九成宮醴泉銘と孔子廟堂碑の鑑賞と臨書		古典の臨書を通して、用筆、運筆、点画の形や線質、字形など表現技法を学習する。 B1:1		
		4週	重厚な楷書と軽快な楷書 建中告身帖と雁塔聖教序の鑑賞と臨書		古典の臨書を通して、用筆、運筆、点画の形や線質、字形など表現技法を学習する。 B1:1		
		5週	行書の特徴		創作の手順を理解し作品づくりをする。B2:1		
		6週	蘭亭序の鑑賞		創作の手順を理解し作品づくりをする。B2:1		
		7週	蘭亭序の臨書（半紙）		創作の手順を理解し作品づくりをする。B2:1		
		8週	蘭亭序の臨書（画仙紙半切）		「いろは歌」により基本的なものを身につける。 B1:1		
	4thQ	9週	行書による創作		「いろは歌」により基本的なものを身につける。 B1:1		
		10週	平仮名の単体		「いろは歌」により基本的なものを身につける。 B1:1		
		11週	変体仮名		「いろは歌」により基本的なものを身につける。 B1:1		
		12週	連綿		連綿の方法や仮名の流動美を理解する。A1:3		
		13週	漢字仮名交じりの書の学習		漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できる。B2:1 よう工夫する。各自が意図した表現に近づける		
		14週	古名跡を応用しての表現		漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できる。B2:1 よう工夫する。各自が意図した表現に近づける		
		15週	用筆・運筆および用具・用材の工夫		漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できる。B2:1 よう工夫する。各自が意図した表現に近づける		
		16週	用筆・運筆および用具・用材の工夫		漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できる。B2:1 よう工夫する。各自が意図した表現に近づける		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	100	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0